佐倉市戦没者追悼式のご案内

多くの尊い命が失われた先の大戦が終結し、70年の年月が過ぎました。市では戦没者および戦災犠牲者を追悼し、平和を祈念する式典を行います。ご遺族のかたなどによる献花や、臼井小学校児童の合唱などが行われます。

市内在住のご遺族のかたには、案内状をお送りしていますが、届いていないかたはご連絡ください。

日時　11月13日㈮午前10時30分～
場所　市民音楽ホール
※来場は公共交通機関をご利用ください
※当日は市役所忠霊塔を開門します
問い合わせ　社会福祉課☎（484）6135

同日開催

佐倉市平和条例施行20周年記念事業
平和講演会
戦中・終戦直後の庶民生活と歴史の継承

戦争を知らない世代が大多数を占める現代社会において、戦中や終戦直後の体験談を私たちはどう受けとめ、どう受け継いでいくのかを考える機会として、同日開催の「佐倉市戦没者追悼式」に続いて開催します。

講師　安田常雄
（国立歴史民俗博物館名誉教授）

日時　11月13日㈮午後2時～
（開場　午後1時30分～）
場所　市民音楽ホール
無料・申し込み不要
※来場は公共交通機関をご利用ください
問い合わせ　広報課
☎（484）6103

《平和講演会プログラム》
▼午後2時　開会
▼午後2時10分～　安田常雄氏による講演
▼午後3時40分～　小学生による平和ポスターの発表・平和メッセージの朗読
▼午後4時　閉会
※市民音楽ホールホワイエにて、平和条例施行20周年記念として募集した小学生の平和メッセージ付きポスター・平和の詩を展示します

みんな集まれ！
佐倉草ぶえの丘 秋祭り
10月31日㈯、11月1日㈰・3日（火・祝）
※記載のないイベントは、無料・申し込み不要

◉それいけ！アンパンマンショー
おくらちゃんと おいしいおやさい

©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV

アンパンマンと仲間たちがやってくる！ショーの後には、握手会もあるよ。お楽しみに♪
日時　11月1日㈰午前11時～、午後2時～

◉ハッピーハロウィン
仮装して入園またはイベントに参加したかたに、お菓子をプレゼント。
日時　10月31日㈯午前10時～
※無くなり次第終了
※その他期間中のイベントなど、詳細は佐倉草ぶえの丘ホームページをご覧ください
開園時間　午前9時～午後6時　※11月1日㈰より、午後4時30分閉園
入園料　大人410円、小中学生100円、未就学児無料
問い合わせ　佐倉草ぶえの丘
☎（485）7821

10/31開催 佐倉アグリフォーラム2015 and ユニバーサル農業フェスタ

楽しく野菜の知識を得ながら、農業の良さを再認識してみませんか？ 農業者や障害者などによる、佐倉産農畜産物の即売会や、発表会もあります。

【佐倉市民音楽ホール会場】
日時　10月31日㈯午後1時～3時40分　**無料・申し込み不要**
演題　カラダにおいしい野菜学
定員　650人
※講演会参加者のかた、先着500人に佐倉産の新米をプレゼントします
※東京大学農学部の農家実習体験発表や西志津小学校合唱部による発表もあります
※手話通訳・託児所有り

講師　藤田智
（恵泉女学園大学教授・NHK趣味の園芸講師）

【御伊勢公園会場】小雨決行
日時　10月31日㈯午前10時～午後3時
内容　▼佐倉産農畜産物および加工品の販売 ▼花苗の販売 ▼焼菓子の販売 ▼米粉商品の販売 ▼活動紹介 など
※来場は公共交通機関をご利用ください
問い合わせ　佐倉アグリフォーラム実行委員会事務局（農政課内）☎（484）6142

楽しく健康寿命を延ばしましょう！
女性のための健康情報サイト「カラダ日和2015」

市は、総務省が推進する「ICT健康モデル（予防）」の実証事業に参加しています。その一環として、総務省から受託された事業者が主体となり、健康情報サイトを開設しました。

健康の知識と意識を向上し、楽しく健康寿命を延ばすために、ご利用してみてはいかがでしょうか。

ウェブサイトへの登録後、健診結果の入力やアンケートに回答すると、先着順で健康関連グッズがもらえます。※登録料無料

カラダ日和2015
二次元コード

女性のための健康情報サイト「カラダ日和2015」　https://karada-biyori2015.jp/
期間　9月1日～平成28年2月28日
問い合わせ　健康増進課☎（485）6711

国名勝指定記念「旧堀田正倫庭園 演奏会」

旧堀田正倫庭園（さくら庭園）が国の名勝に指定されたことを記念し、庭園で演奏会を開催します。
日時　10月31日㈯午後2時～
場所　旧堀田正倫庭園　**無料・申し込み不要**
※雨天時は旧堀田邸内で開催（先着50人）
出演　阿佐美穂芽（生田流箏曲演奏家）、櫻井咲山（尺八奏者）
問い合わせ　文化課☎（484）6192

「古今佐倉真佐子」に見る江戸時代の佐倉

新 佐倉 錦めがね

《其の42》

善右衛門がみた佐倉の秋祭り
―麻賀多神社大神輿の渡御・下

さて、前回は麻賀多神社の神輿の行列について触れましたが、今回は前回紹介できなかった「古今佐倉真佐子」に記録されている神輿渡御のルートについて見ていきたいと思います。

祭り初日の「申の上剋頃（＝午後3時半ごろ）」に麻賀多神社を出た神輿は、うるし坂の上を通り武家屋敷方面へ行き、薬師坂を下ります。その後、「鏑木村を渡、佐那太橋へ行、少之内御神座神楽あくる」と善右衛門は記録しています。「佐那太橋」は、付属の絵図によると現在の樋の口橋あたりにあった橋で六崎方面に続いています。善右衛門が佐倉にいた頃は、橋に神輿が到着した後に神楽があったようですが、現在では、「浜下祭」が行われています。そして、裏新町、八軒町、弥勒町、間之町、肴町を通り、仲町の御旅所へ入り一日目が終了します。二日目は、「夕七つ（＝午後4時ごろ）過」に、御旅所を出発し、新町より横町へ渡ります。その後、麻賀多神社に神輿が戻り、祭礼が終了します。

現在の渡御もこのルートを基調としていますが、明治時代以降、街の発展とともに変化していきます。例えば、明治時代、最後の藩主であった堀田正倫が邸宅を設け佐倉に戻ると、堀田邸の門の前まで神輿が来るようになりました。また、第二次大戦後には、栄町へも渡御されるようになり、京成佐倉駅方面にも神輿の姿を見ることができます。このようにして、現在のルートへと近づいていったのです。

麻賀多神社の神輿渡御は、長い歴史をもちながら地域の人々の手によって代々継承されてきた佐倉の秋祭りの中核をなす行事です。壮大優美な山車、御神酒所、にぎやかなお囃子といった佐倉の祭礼文化とともに、地域の人々の尽力によって、今後も受け継がれていくことでしょう。

※あなたが撮った今年の佐倉の秋祭りの写真を、来年1月の市立美術館の写真展（主催：佐倉山車人形保存会）で展示しませんか？ 詳しくは「佐倉山車人形保存会事務局」で検索！

問い合わせ　文化課　☎（484）6192

佐倉市民憲章
（昭和45年12月23日制定）

わたくしたちは、印旛沼湖畔のきれいな空気と緑と太陽と歴史に恵まれた佐倉市民です。全市民は、力を合わせてこの憲章を守り、理想のまちをつくりましょう。

一、私たちは、美しく清潔なまちをつくりましょう。
一、私たちは、公衆道徳を守り、スポーツを愛し、明るいまちをつくりましょう。
一、私たちは、歴史や自然を大切にし、おくゆかしいまちをつくりましょう。
一、私たちは、老人を敬い、子どもを愛し、あたたかいまちをつくりましょう。
一、私たちは、創意と努力をもって、豊かなまちをつくりましょう。